

施策 1 4 4

医薬品等の安全・安心の確保と動物愛護の推進

【主担当部局：医療保健部】

県民の皆さんとめざす姿（令和5年度末での到達目標）

医薬品や医療機器などの品質管理体制の整備により医薬品等の安全が確保されるとともに、生活衛生営業施設等の衛生が確保され、安全なサービスや製品が提供されています。

また、さまざまな主体と連携し地域全体で取り組むことで、動物の殺処分がなくなるとともに、薬物が容易に入手できない環境が整備されています。

主指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
やむを得ず殺処分を行った犬・猫の数						0匹
	115匹 (30年度)					
目標項目の説明と令和2年度目標値の考え方						
目標項目の説明	保健所に収容した犬・猫のうち、やむを得ず殺処分を行った犬・猫の数（治療の見込みがない病気などの理由により殺処分した数を除く）					
2年度目標値の考え方						

副指標						
目標項目	令和元年度	2年度		3年度	4年度	5年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
県内の医薬品等製造施設のうち不良医薬品等を出さなかった施設の割合						100%
	98.8% (30年度)					
献血を行った10代の人数						2,400人
	2,095人 (30年度)					
薬物乱用防止に関する知識と理解を深めた県内学校の児童生徒等の人数						58,000人
	54,702人 (30年度)					
健康被害が発生しなかった生活衛生営業施設の割合						100%
	100% (30年度)					

## 現状と課題

- ①医薬品等製造業者等への監視指導や、県民の皆さんへの医薬品等の適正使用のための情報提供などを行うとともに、患者本位の医薬分業の実現等をめざし「かかりつけ薬剤師・薬局」を推進しています。引き続き、医薬品等の品質、有効性および安全性の確保を図るとともに、将来にわたり安全な血液製剤を安定的に確保するため、若年層に対する献血啓発などに取り組む必要があります。
- ②動物愛護管理の拠点として三重県動物愛護推進センター「あすまいる」を平成29(2017)年5月に開所し、動物愛護教室などの普及啓発活動、飼い主への終生飼養の指導や飼い主のいない猫の不妊・去勢手術などの引取り数を減らす取組、譲渡事業等に取り組んだところ、犬・猫の殺処分数が大幅に減少しました。引き続き、人と動物が安全・快適に共生できる社会をめざし、取組を推進する必要があります。
- ③民間団体、学校、市町等の関係機関と連携し、薬物乱用防止に関する啓発、取締りなどに取り組んでいます。近年、若年層を中心に大麻事犯検挙者数が増加していることから、これまで以上に薬物乱用防止対策を進める必要があります。
- ④生活衛生営業施設等に対する監視指導や衛生管理に関する講習会等を行っています。引き続き、施設における衛生確保を図るため、監視指導などに取り組む必要があります。

## 令和2年度の取組方向

- ①医薬品等の安全確保のため、医薬品製造業者等の監視指導や製品検査を実施し、製造業者等の品質管理に関する技能の向上を図るとともに、医薬品等を使用する側の県民の皆さんに対して医薬品の副作用等に関する正しい知識の啓発に取り組めます。引き続き、後発医薬品の製造施設の監視や製品検査に取り組むとともに、関係団体と連携し、後発医薬品の適正使用の推進に取り組めます。
- ②在宅医療への参画や多職種との連携等に取り組む薬局・薬剤師を支援するとともに、女性薬剤師の復職支援等、薬剤師の確保支援を進めます。また、薬剤師会と連携し、研修会の開催等により、災害薬事コーディネーターの養成に努めます。
- ③将来的に安定して血液を供給するためには、若年層の協力が必要不可欠であることから、高等学校における献血セミナーの開催や高校生、大学生等の献血ボランティアとの連携を推進するとともに、献血セミナーの受講者等が実際に献血者に結び付く取組の充実を図ります。
- ④「あすまいる」を動物愛護管理の拠点として、殺処分ゼロに向け、犬・猫の譲渡や、飼い主のいない猫の減少に向けた不妊・去勢手術、動物愛護教室の普及啓発活動等を推進します。また、県獣医師会等関係団体と連携し、災害時などの危機管理対応に取り組むとともに、ボランティア等のさまざまな主体との協創の取組を推進するなど、3つの取組をさらに充実します。
- ⑤薬物乱用防止対策の推進は、関係機関が連携して取組を進めていくことが重要であることから、引き続き、「三重県薬物乱用対策推進本部」等を活用し、計画的な啓発、取締りや再乱用防止等を実施することにより、大麻等の薬物乱用防止に取り組めます。
- ⑥生活衛生営業施設等における衛生確保を図るため、施設の監視指導等を行うとともに、県生活衛生営業指導センターと連携して自主的な衛生管理の推進を図ります。

## 主な事業

### ①薬事審査指導費【基本事業名：14401 医薬品等の安全な製造・供給の確保】

予算額：(R1) 17,137千円 → (R2) 16,370千円

事業概要：医薬品等の品質、有効性および安全性を確保するための監視等を行うとともに、県民に対して医薬品等の正しい知識を提供し、適正な使用の推進に取り組みます。

### ②薬事経済調査費【基本事業名：14401 医薬品等の安全な製造・供給の確保】

予算額：(R1) 12,250千円 → (R2) 15,916千円

事業概要：医薬品、医療機器等の安定供給と、適切な価格設定等に貢献するため、薬価調査、医薬品需給状況調査を実施するとともに、後発医薬品の品質確保や適正使用の推進に取り組みます。また、患者本位の医薬分業の実現に向け、患者のためのかかりつけ薬剤師・薬局の推進等の事業を実施します。

### ③（一部新）薬局機能強化事業【基本事業名：14401 医薬品等の安全な製造・供給の確保】

予算額：(R1) 6,995千円 → (R2) 9,335千円

事業概要：在宅医療への参画や多職種との連携等に取り組む薬局・薬剤師を支援するとともに、女性薬剤師の復職支援や、中・高校生への啓発等の薬剤師への魅力を高める取組により薬剤師の確保支援を進めます。

### ④血液事業推進費【基本事業名：14401 医薬品等の安全な製造・供給の確保】

予算額：(R1) 2,595千円 → (R2) 2,819千円

事業概要：将来的に安定して血液を供給するためには、若年層の協力が必要不可欠であることから、高等学校における献血セミナーの開催や高校生、大学生等の献血ボランティアとの連携を推進するとともに、献血セミナーの受講者等が実際に献血者に結びつく取組の充実を図ります。また、医療機関における血液製剤使用の適正化を図ります。

### ⑤（一部新）動物愛護管理推進事業【基本事業名：14402 人と動物との共生環境づくり】

予算額：(R1) 130,268千円 → (R2) 143,735千円

事業概要：関係団体等と連携し、動物愛護教室等の普及啓発活動等に取り組むとともに、「あすまいる」を動物愛護管理の拠点とし、クラウドファンディングを活用した飼い主のいない猫の不妊・去勢手術や犬・猫の譲渡等の殺処分数ゼロに向けた取組、ペットに関する防災対策の取組等を推進します。また、「第3次三重県動物愛護管理推進計画」の策定に取り組みます。

### ⑥薬物乱用防止対策事業【基本事業名：14403 薬物乱用防止対策の推進】

予算額：(R1) 11,146千円 → (R2) 10,342千円

事業概要：警察本部等の関係機関と連携し、危険ドラッグ等の取締り、若年層を対象とした薬物乱用防止教室等による啓発や薬物依存症者等に対する回復支援を中心とした再乱用防止に取り組みます。

### ⑦生活衛生関係営業指導費【基本事業名：14404 生活衛生営業施設等の衛生確保】

予算額：(R1) 28,119千円 → (R2) 27,788千円

事業概要：生活衛生営業施設等の監視指導や講習会等を行います。また、住宅宿泊事業が適正に運営されるよう、関係機関と連携を図り的確に対応します。